

1. 件 名：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構との審査の進め方に関する面談

2. 日 時：令和3年3月23日（火）9：00～9：40

3. 場 所：原子力規制庁10階南会議室（テレビ会議）

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 研究炉等審査部門

大島安全規制管理官（研究炉等審査担当）、来住補佐、小多係長

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

安全・核セキュリティ統括部 奥田部長 他2名

5. 要 旨

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（以下「機構」という。）から、常陽の審査における中間的な取りまとめに向けた対応について説明があった。

規制庁からは以下の点を指摘した。

- ・中間とりまとめにあたっては、今回の設置変更許可申請において、炉心が小さくなることに伴うハード・ソフト両面の対応を分かりやすく整理して欲しい。
- ・炉心損傷防止措置の有効性評価における解析評価について、簡易評価とSIMMERコードによる評価を併用することであるが、SIMMERコードの信頼性を確認するため、簡易評価による保守的なもので対策が有効であるとの説明になると考えている。具体の整理方法については担当班とよく相談してもらいたい。

これらに対し、機構からは了解した旨回答があった。

6. 配布資料

なし